

**Futaba**

***SkyLeaf*** ***Epp***

***SkyLeaf*** ***Epp***  
*Samba*

**スカイリーフ・EPP / サンバ・EPP**

**EPP 電動RCプレーン**



# 組立説明書

1M23N28810

このたびは スカイリーフ RC プレーンをお買い上げいただきまして  
誠にありがとうございます。

ご使用前に、この組立説明書をお読みのうえ、正しく組立て安全にお楽しみください。  
また、お読みになられたあとも大切に保管してください。

## ⚠ 危険

### ❗ 組立について

この製品は完成機ではありません。お客様自身で正確に組み立て、自己の責任にて安全にお楽しみください。組立不良による事故に関しては弊社は一切責任をおいしません。

### ❗ 飛行について

この飛行機はラジコン飛行機の組立、飛行を十分マスターした中上級者が対象となっています。未経験の方には組立や飛行することができません。未習熟の方の飛行中の事故に関しては弊社は一切責任をおいしません。またこの飛行機は、室内機やパークプレーンではありません。高速で広範囲を飛行しますので、広い安全な屋外で飛行してください。

### ❗ アクロフライトについて

この飛行機は高度なアクロフライトができるように、舵の面積が大きく、舵角も多くとれるようになっています。アクロフライトは、はげしい動きで、予期せぬ失速がおきる危険性があります。また、舵角を大きくすると、ニュートラルの保持力が低下して、高速飛行時にフラッターが起きやすくなります。アクロフライトは、飛行技術がある方が、人や建物・自動車などに被害がおよばない安全な場所で、操縦者自身もヘルメット、防護メガネを付けるなど十分に考慮して、自己責任にてお楽しみください。

### ❗ 機体の強度について

この飛行機はやわらかい EPP (発砲ポリプロピレン) 素材を使用し、極力軽量化しています。そのため機体強度は最低限となっています。機体を強く握ったり、ねじったり、うえにものを乗せたりすると変形したり破損することがあります。機体の取扱いには十分な注意が必要です。

### ✂ 飛行のために必要な物

このセットは、飛行機の半完成キットです。飛行するためには RC 送受信機・RC 飛行機用モーター・バッテリーや充電器などが別に必要です。また組立には接着剤や工具が必要です。この説明書にしたがってそろえる必要があります。

### ✂ 機体の精度について

この飛行機はやわらかい EPP 素材の半完成キットのため、若干の寸法誤差があります。組み立てには多少の加工や調整が必要になります。また、EPP 素材にカラーリングを印刷していますので、強くこするとカラーリングが薄くなってくる場合があります。

## 用途、改造等に関するご注意

### 1. 模型用以外に使用しないで下さい。

本説明書に記載されている製品は、用途が模型用に限定されております。

### 2. 改造、調整、部品交換した場合のご注意

本製品を弊社以外で改造、パーツ交換などの手が加えられた場合、一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載しないでください。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容は万全を期して作成していますが、万一ご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- お客様が機器を使用した結果につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承下さい。

# 安全にお使いいただくために

いつも安全に製品をお使いいただくために、以下の点にご注意ください。



## 表示の意味

本書の中で次の表示がある部分は、安全上で特に注意する必要がある内容を示しています。

表示	意味
<b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される場合。
<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。または、軽傷、物的損害が発生する可能性が高い場合。
<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が重傷を負う可能性は少ないが、傷害を負う危険が想定される場合。ならびに物的損害のみの発生が想定される場合。

図記号： ; 禁止事項

; 必ず実行する事項



## 動力用リチウムポリマーバッテリーに関する注意事項

### 危険

- 購入されたバッテリーメーカーの安全に関する注意事項をよくお読みください。
- 一般にリチウムポリマーバッテリーは、墜落や衝突などで機体に強い衝撃が加わった場合に発火する可能性があります。
- 墜落や衝突の際に使用していたリチウムポリマーバッテリーは再使用しないでください。
- 墜落や衝突などで機体に強い衝撃が加わった場合は、すぐに機体からバッテリーを取り外して防火できる場所に保管してください。



## 組立時の注意
















### 危険

- 組立説明書にしたがって正確に組み立てる。
  - 組立不良や改造をすると空中分解や墜落する危険性があります。
- 重心位置は指定の範囲内にする。
  - オモリなど使用して必ず指定の範囲内にしてください。指定範囲はずれると不安定になり墜落します。
- 各舵の動作方向を十分に確認する。
  - 舵の動作方向を間違えると操作不能で墜落します。
- モーター・プロペラ・バッテリーは指定の範囲内のものを使用する。
  - 指定外のものを使用すると操縦不能や空中分解で墜落します。
- 機体のねじれや曲がりは修正する。
  - ねじれたり曲がったりしたまま飛行すると操縦不能で墜落します。
- リンケージは軽くスムーズに引っかかりのないようにする。
  - リンケージが渋かったり引っかかりたりしたまま飛行すると操縦不能で墜落します。
- エンジンは搭載しない。
  - この機体の動力はモーター専用です。エンジンを搭載すると振動などにより破損・墜落します。
- 主翼をカンザシパイプに挿しこむときは、まっすぐに挿入しムリにこじ入れない。
  - 曲がった状態でムリに差し込むと翼内部が破損し空中分解して墜落します。

### 警告

- 小さなお子様のいる場所での組立はしない。
  - 小さな部品やビニール袋などをくちに入れる危険性があります。
- 換気の悪い場所で接着剤や洗浄剤を使用しない。
  - 中毒になる危険性があります。
- カッターやドリル、キリ、ニッパー、はんだコテなどを使用する場合は、けがやヤケドに十分に注意する。
  - 組立には工具が必要です。危険なものもありますので十分注意してください。

## ⚠ 危険

-  周囲の電波の影響により電波が届かなくなる場合があります。ご使用前の動作テストや使用中にこのような状況がある場合は使用を中止する。
-  操作中、送信機を他の送信機や携帯電話等の無線装置に接触させたり近づけたりしない。  
■誤動作の原因となります。
-  雨の日、風の強いときや夜間は絶対に飛行させない。  
■機体内部に水が入り空中分解したり、操縦不能となったり、見失ったりして墜落します。
-  フックバンドを首にかけたままで、モーターのスタート操作をしない。  
■フックバンドが回転するプロペラへ吸い込まれると大ケガとなります。
-  疲れているとき、病気のとき、酔っぱらっているようなときは飛行させない。  
■集中力を欠いたり、正常な判断ができないため思わぬ操作ミスをおかして墜落します。
-  次のような場所では飛行させない。
  - ・人の近くや人の上空、屋内
  - ・家屋、学校、病院、公園などの人の集まる場所の近く
  - ・高圧線、高い建造物または通信施設の近く■電波の混信や障害物などにより墜落したり、万一、プロポや機体の故障により墜落した場合、人命を奪ったり、家屋等の損傷をひきおこします。
-  安全のため、常に機体が視認できる状態で飛行する。  
■建物等の大きな障害物の背後への飛行は見えないばかりでなく、通信品質も低下し機体のコントロールができなくなる恐れがあります。
-  飛行前には必ず機体の点検を実行する。  
■機体、プロポ等のどこかに一つでも異常があれば墜落します。  
\*毎回飛行前に、機体各部の点検をおこなってください。各舵を動作させてみて、各舵が追従動作することを確認します。追従動作しない場合や異常な動作をする場合は飛行しないでください。
-  安全上、必ずフェイルセーフ機能の設定を行なう。  
■スロットルのフェイルセーフ設定は通常の場合最スローになるように設定します。また、状況に合わせて安全な位置に設定してください。正しく電波を受信できなくなった場合に、フルハイで墜落すると大変危険です。
-  使用中、使用直後には、モーター、モーターコントローラー等には触れない。  
■高温になっているためヤケドします。
-  <電源スイッチを入れるとき>  
送信機のスロットルスティックを最スローの状態とした後、
  1. 送信機の電源スイッチを入れてから
  2. 受信機側の電源スイッチを入れる
-  <電源スイッチを切るとき>  
モーターを停止させた後、
  1. 受信機側の電源スイッチを切ってから
  2. 送信機の電源スイッチを切る■操作の順番を逆にすると、不意にプロペラが回転し、ケガをします。  
\*最スロー：モーターがストップする方向。
-  機体やプロポの調整を行うときは、必ず、モーター配線ははずして行う。  
■不意にプロペラが回転した場合ケガをします。
-  急降下などで機体のスピードを上げすぎない。  
■高速になりすぎるとフラッターで機体が破損し墜落します。
-  高速時に急なエレベーター操作をしない。  
■失速して操縦不能になります。また、過度のGがかかり空中分解して墜落します。

- ⊘ 過度の低速状態にしない。  
■失速して操縦不能になり墜落します。
- ⊘ 人や建物・自動車に向かって飛行しない。  
■激突して死亡や大ケガ、器物破損のおそれがあります。
- ⊘ 回転中のプロペラの前方や側面に、手や体を置かない。  
■プロペラが破損した場合、死亡や大ケガ、器物破損のおそれがあります。
- ⊘ プロペラの回転面に、手や体を置かない。  
■プロペラに触れた場合、死亡や大ケガのおそれがあります。



## 保管・廃棄時の注意

### ⚠ 警告

- ⊘ 機体・バッテリー等を幼児の手の届く所に放置しない。  
■触って作動させたり、電池をなめたりすると、ケガをしたり、化学物質による被害を受けます。
- ⊘ 機体・バッテリーを火の中に投入したり、加熱したりしない。また、分解したり、改造したりしない。  
■破裂、異常発熱、漏液、有毒ガス等により、ケガ、ヤケド、失明等をします。

### ⚠ 注意

- ⊘ 機体は次のような場所に保管しない。
  - ・極端に暑いところ (30℃以上)、寒いところ (-10℃以下)。
  - ・直射日光があたる場所。
  - ・湿気の多い場所。
  - ・振動の多い場所。
  - ・ほこりの多い場所。
  - ・蒸気や熱があたる場所。■上記のようなところに保管すると、変形や故障の原因となります。
- ⓘ 長期間使用しない場合は、バッテリーを送信機や機体から取り出して、湿気の少ない場所に保管する。  
■そのまま放置すると、バッテリーの漏液により、機体の性能や寿命を低下させます。
- ⓘ 機体の上にものを乗せたり、ストレスのかかる状態で保管しない。  
■この飛行機はやわらかいEPP素材で作られています。上にものを乗せたり、ストレスがかかると、変形したりネジレが発生して操縦不能になります。



## その他の注意

### ⚠ 注意

- ⊘ 燃料、廃油、排気等を直接プラスチック部分にかけない。  
■そのままにしておくと、プラスチックが侵され、破損します。
- ⓘ 送信機、受信機、サーボ、モーターコントローラー、その他オプションパーツは、必ず指定範囲内の組み合わせで使用する。  
■指定範囲外の組み合わせにより発生した損害等につきましては、当社では責任を負いません。たとえば指定より大きなモーターを搭載すると、機体バランスが損なわれ、不安定になったり、過速度により空中分解したりします。必ず取扱説明書に記載されている範囲内のものを使用してください。
- ⓘ この飛行機の材料は可燃物が多く使用されています。火災には十分ご注意ください。  
■飛行時以外は必ずバッテリーをはずし、火気のないところに保管してください。
- ⓘ ラジコン保険に加入する。  
■ラジコン保険の加入申し込みはラジコン操縦士登録代行店に問い合わせてください。



## スカイリーフ・EPP とサンバ・EPP

この組立説明書はスカイリーフ・EPP とサンバ・EPP の2機種兼用となっています。動翼の形状が異なりますが、組立手順や重心位置などのデータは同じです。イラストはサンバとなっていますのでご了承ください。

### ✂ 1 キットのほかに必要なもの

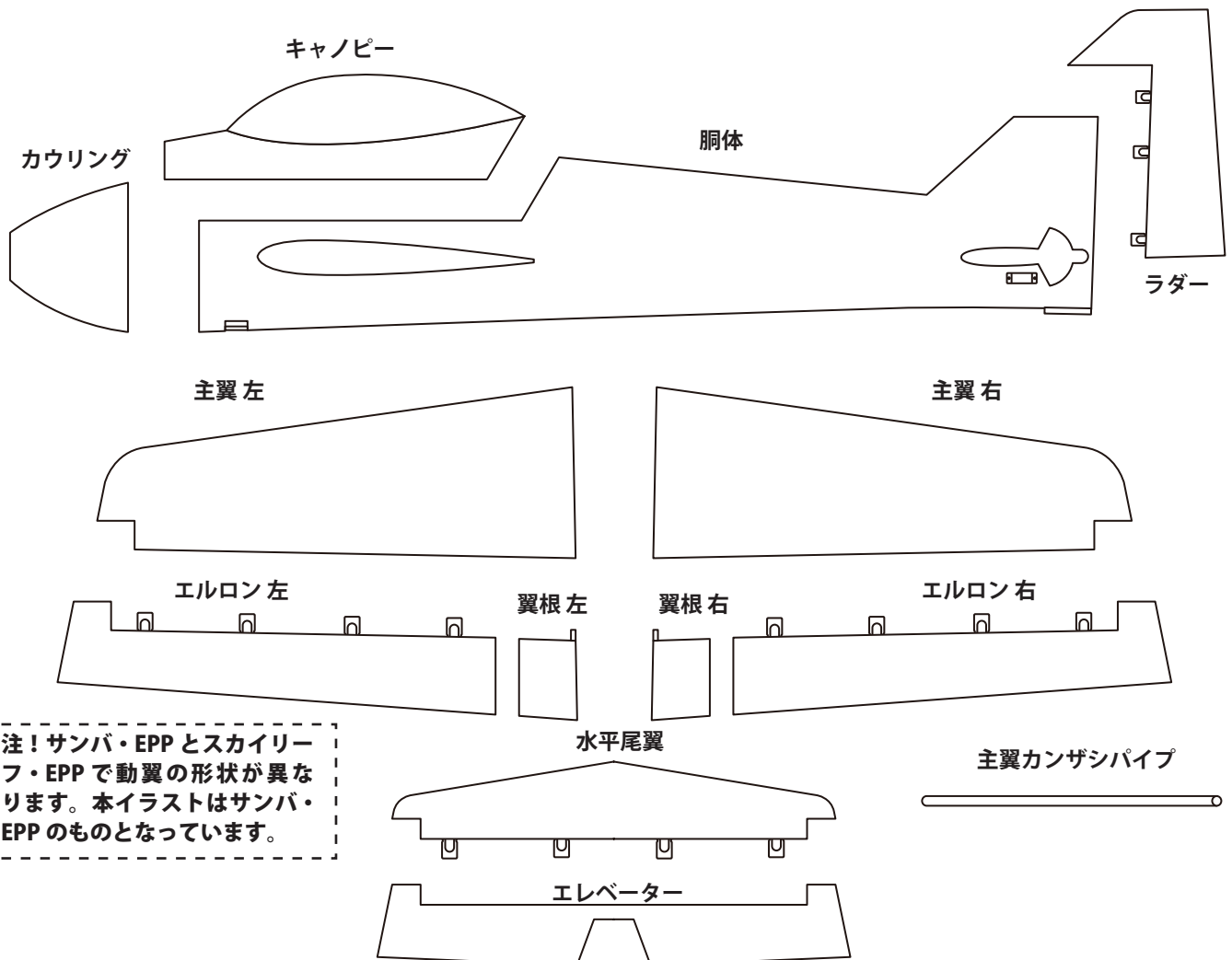


- 4チャンネル以上の空用送信機 / 受信機 (Futaba 6J、10J、14SG、18MZ などの T/R セット)
- (サーボなしセットの場合はマイクロ・サーボ4個)
- サーボ用延長コード (サーボ付きセットには付属)  
100mm × 4本、400mm × 1本、500mm × 1本 (サーボのケーブル長が 200mm の場合)
- 動力モーター (O.S. OMA-3820-1200 モーターなど)
- モーターコントローラー (Futaba MC951H/A など)
- 動力用リチウムポリマーバッテリー (3セル 2,000 ~ 2,600mAh)
- リチウムポリマー用充電器
- プロペラ (10 × 7 ~ 11 × 7)



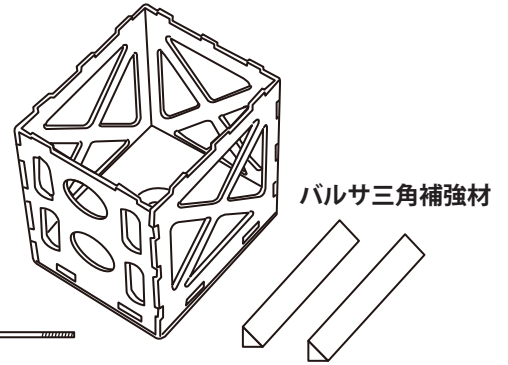
- カッター
- ニッパー
- ラジオベンチ
- ハサミ
- プラスドライバー
- 六角ドライバー
- キリ
- ドリル
- テープ
- マジックテープ
- 低粘度瞬間接着剤
- 瞬間接着剤用促進剤
- マジックペン
- 金ヤスリ
- サンドペーパー など

### ✂ 2 キットに付属しているもの



注! サンバ・EPP とスカイリーフ・EPP で動翼の形状が異なります。本イラストはサンバ・EPP のものとなっています。

モーターマウント



注! ロッドの長さは調整が必要な場合があります。もしも、長い場合は、カットしてください。

75mm ロッド (エルロン用)

75mm ロッド (エルロン用)

95mm ロッド (ラダー用)

175mm ロッド (エレベーター用)

バルサ三角補強材

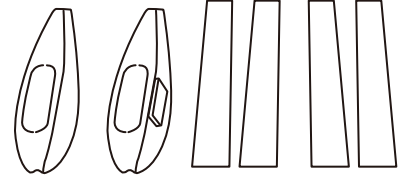
メインギヤプレート



ナイロンバンド



ホイールパンツ ギヤストラット



タイヤ



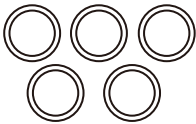
ベルクロテープ



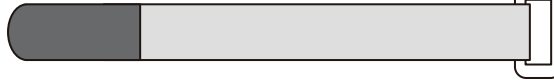
ベルクロテープ



リング

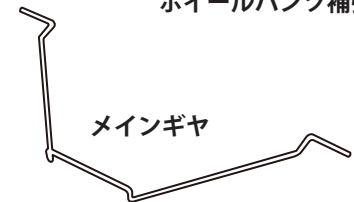


ベルクロバンド

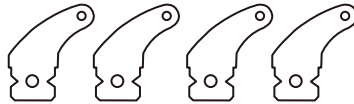


ホイールパンツ補強材

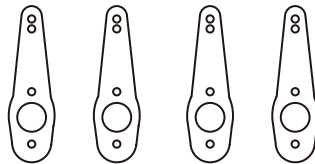
メインギヤ



コントロールホーン



延長サーボホーン



1.8×5 サラタッピング ×8



テールギヤ



尾輪

1.8×12 タッピング ×4

ストッパー&イモネジ □□

4×15 六角 ×2

3mm ストッパー ×4

2.6×15 タッピング ×2

ボールリンク ×4

2.6×10 タッピング ×4

ロッドアジャスター ×4

2×10 六角 ×4

2mm ナット ×4

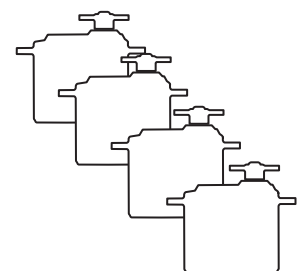
ヒートン大 ×2

4mm ワッシャー ×2

ヒートン小 ×1

3mm イモネジ ×4

※サーボ付セットの場合



サーボ (S3270SVi)+ ホーン袋詰め

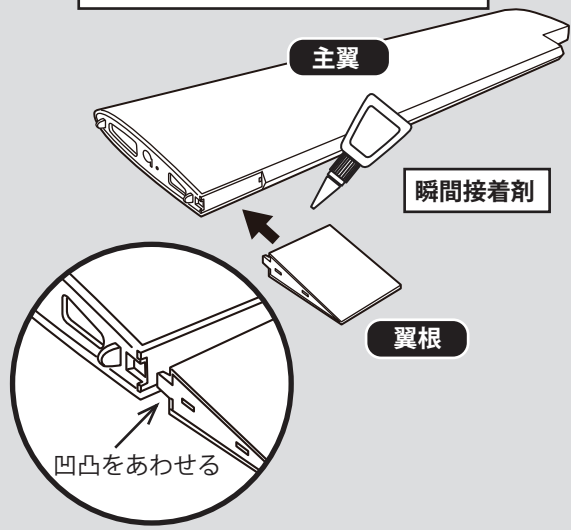
※ビス・ナット・ワッシャー類は余分に入っている場合があります。

※パーツは変更される場合があります。

### 3 主翼の製作

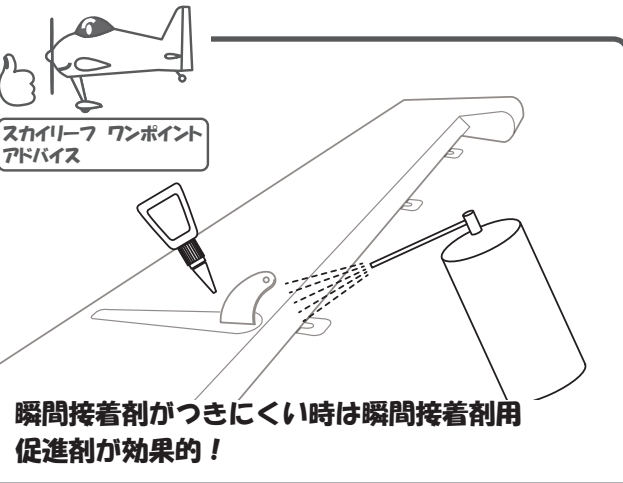
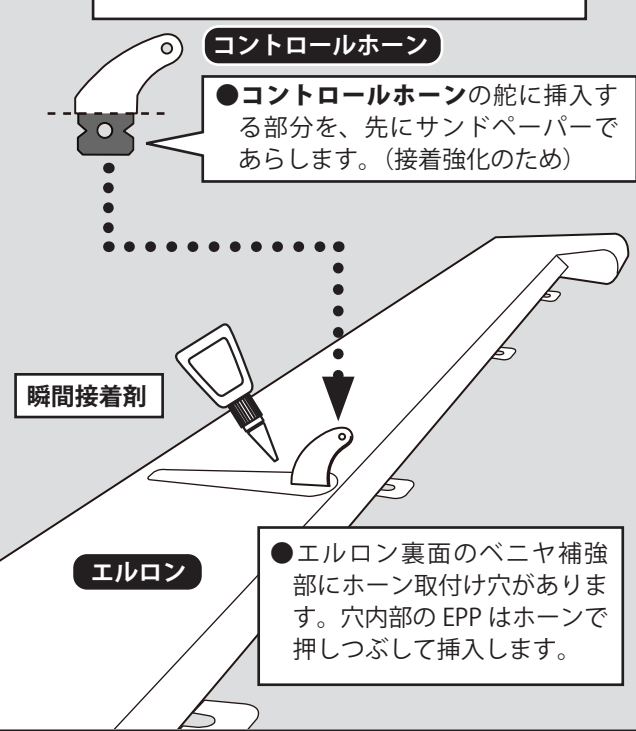
1

●左右の主翼に翼根を接着します。



2

●左右のエルロンにコントロールホーンを接着します。

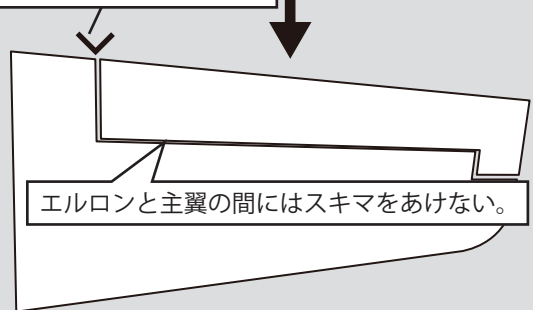


瞬間接着剤が付きにくい時は瞬間接着剤用促進剤が効果的！

3

●ヒンジがミゾに入るように主翼にエルロンを差込みます。  
注！デザインをみて主翼とエルロンの表裏を間違えないように注意してください。

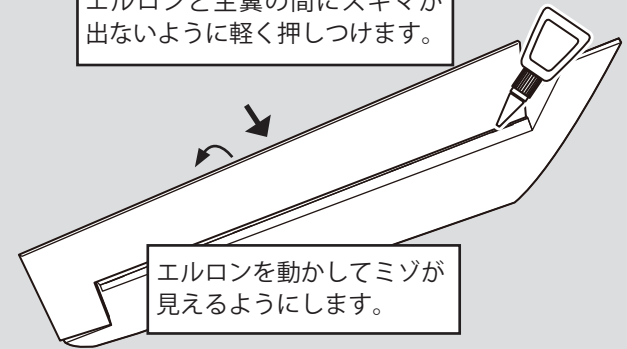
ここにはスキマがあきます。



4

●主翼にさしこんだヒンジ4カ所に瞬間接着剤を流します。エルロンを上動かしてヒンジのミゾに確実に流し込みます。

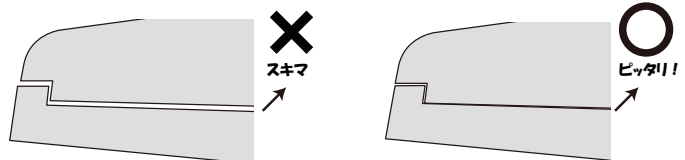
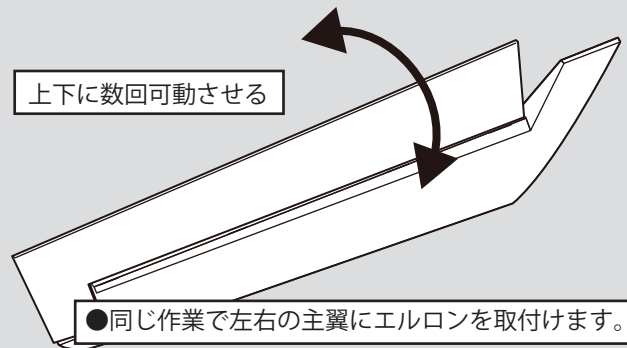
エルロンと主翼の間にスキマが出ないように軽く押しつけます。



5

●接着剤乾燥後にエルロンを上下に可動させます。はじめは動きがしぶいですが数回上下させるとスムーズに可動するようになります。エルロンがぬけてしまう事のないように、しっかりチェックしてください。

上下に数回可動させる

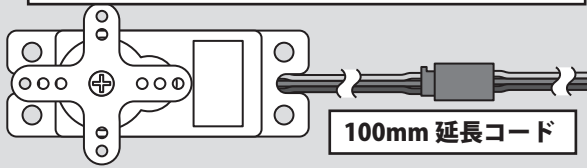


動舵のスキマをなくすとキレイ味のいいフライトができるよ！



6

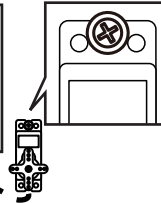
- エルロンに使用するサーボ2個に**100mmの延長コード**（サーボ付きセットのみ付属）を付けます。



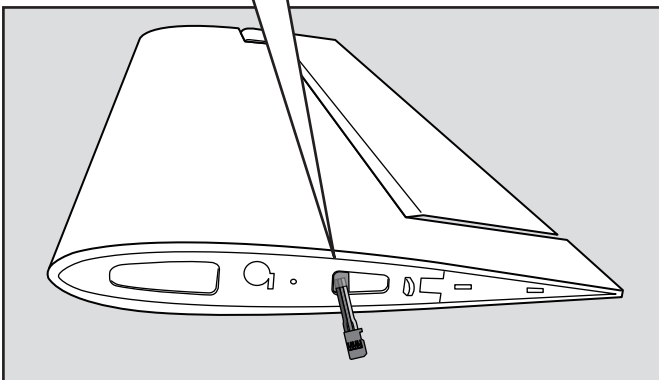
7

- サーボマウントにキリで下穴をあけて、サーボに付属している**タッピングビス2本**でサーボをとりつけます。

- サーボがきつくて入らない場合はサーボマウントを少しけずってください。



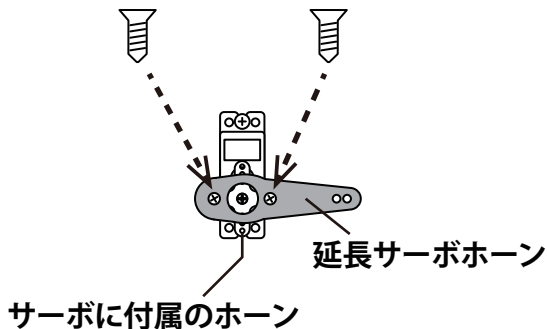
- リード線は主翼内部を通して翼根の穴からだします。



8

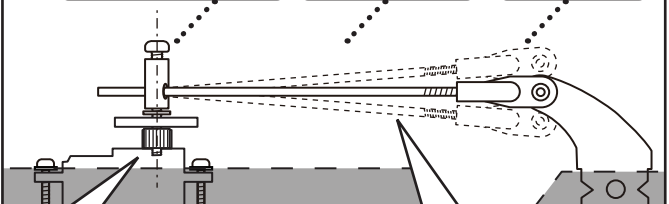
- サーボに付属しているホーンの上から**延長サーボホーン**をネジ止めします。

1.8×5 サラタッピング



9

ロッドアジャスター エルロンロッド ボールリンク

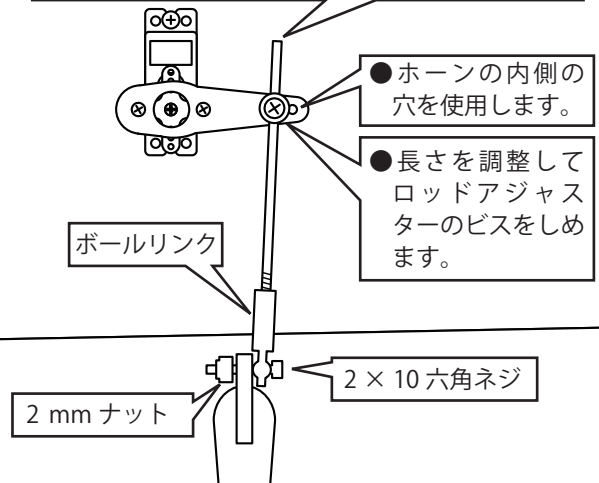


- スムーズに動作する適度なクリアランスに調整してから、このナットを接着剤で回り止めします。  
**注!** しめすぎると動きがしぶくなります。

- ロッドアジャスターがサーボホーンに対し垂直にならない場合はロッドを少し曲げて調整してください。

10

- 余分なロッドは長さ調整後にカットしてください。

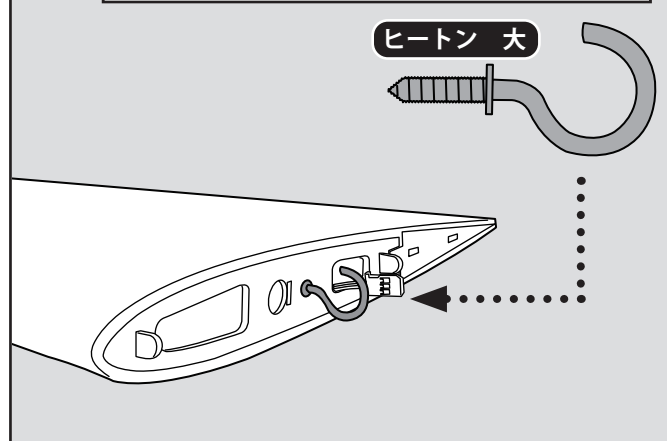


- サーボを受信機につないでプロポの電源をいれニュートラルにします。図のようにリンケージしてサーボのニュートラルでエルロンがまっすぐになるように**ロッドアジャスターで長さ**を調整してください。

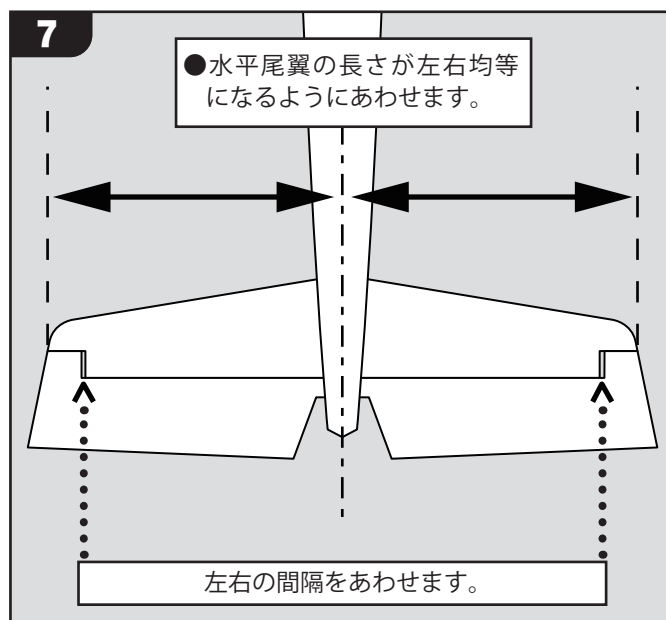
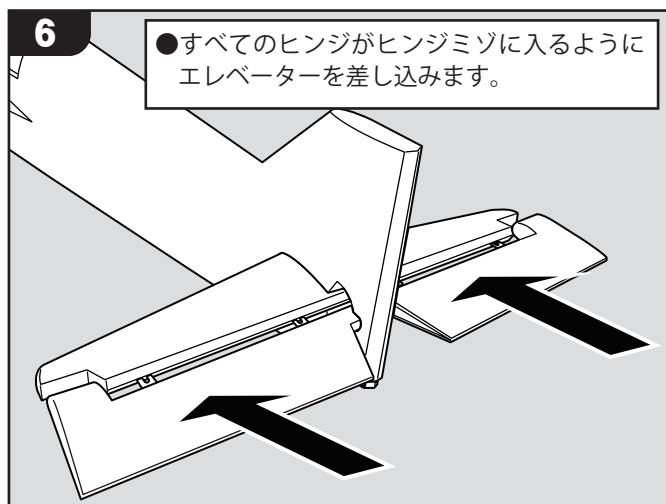
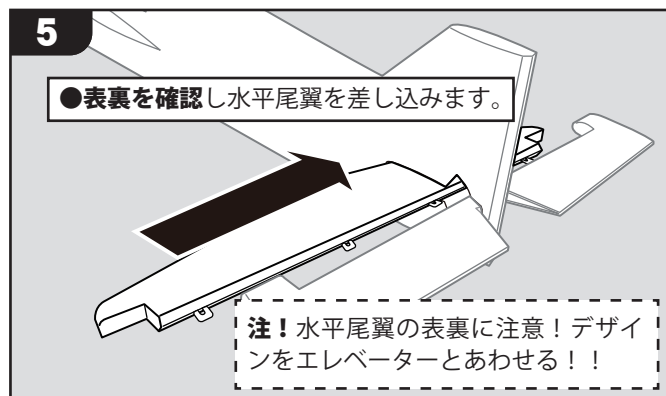
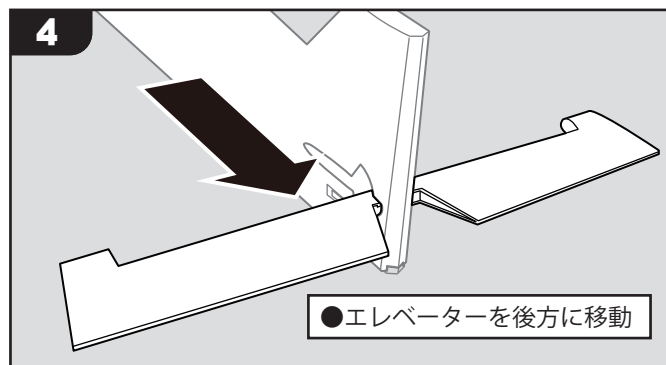
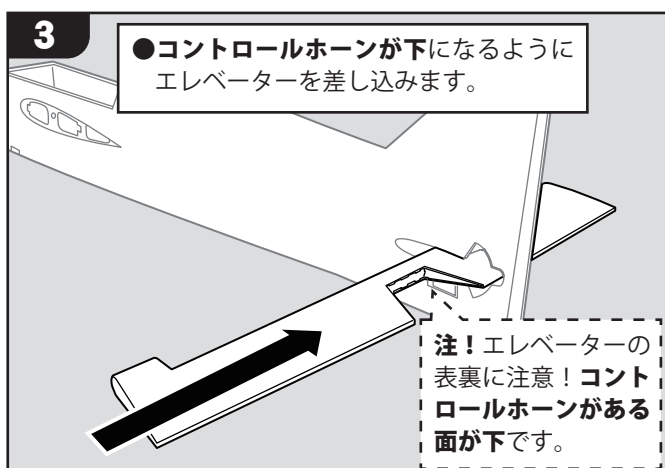
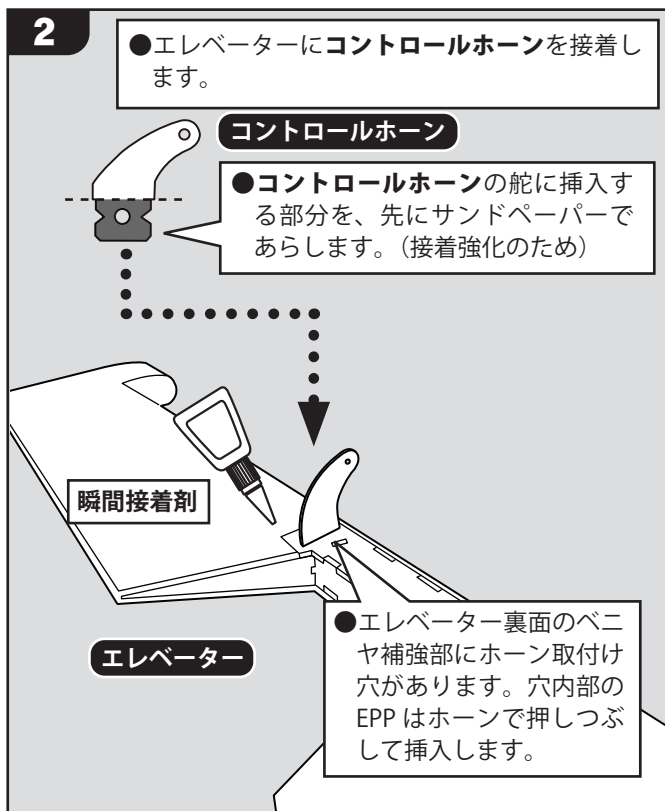
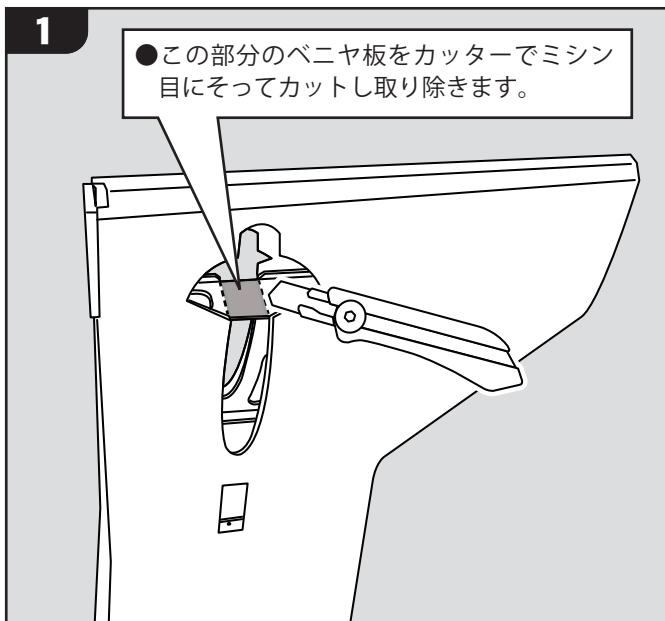
- 同じ作業で左右の主翼にサーボを取付けます。

11

- 左右の主翼の図の部分に下穴があいています。そこに**ヒートン大**をねじ込みます。



## 4 尾翼の製作



**8**

- エレベーターのヒンジに瞬間接着剤を流し込んで接着します。
- すべてのヒンジに瞬間接着剤を流し込みます。
- 乾燥後に上下に数回動かすとスムーズに動くようになります。

**11**

- すべてのヒンジがヒンジミゾに入るようにラダーを差し込みます。

**9**

- 水平尾翼の胴体との接合部に上下から瞬間接着剤を流し込んで接着します。

**12**

- 垂直尾翼のすべてのヒンジ部に瞬間接着剤を流し込んでラダーを接着します。
- ここにはラダー動作を妨げないようにスキマをあけます。

**10**

- ラダーにコントロールホーンを接着します。

**コントロールホーン**

- コントロールホーンの舵に挿入する部分を、先にサンドペーパーであらします。(接着強化のため)

**ラダー**

- ラダー側面のベニヤ補強部にホーン取付け穴があります。穴内部のEPPはホーンで押しつぶして挿入します。

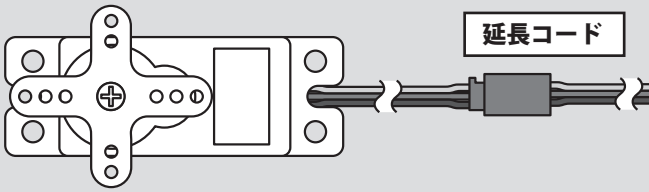
**瞬間接着剤**

**13**

- 乾燥後にラダーを左右に数回動かすとスムーズに動くようになります。

14

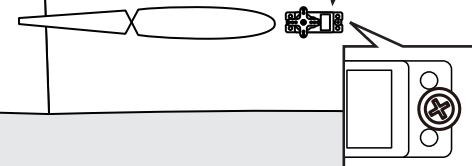
- エレベーターに使用するサーボに **400mm** の延長コード、ラダーに使用するサーボに **500mm** の延長コードをつけます。(サーボ付きセットのみ付属)



15

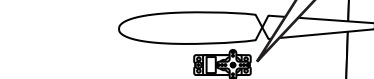
- エレベーターサーボを取付けます。

- サーボマウントにキリで下穴をあけて、サーボに付属している**タッピンググビス2本**でサーボをとりつけます。



- ラダーサーボを取付けます。

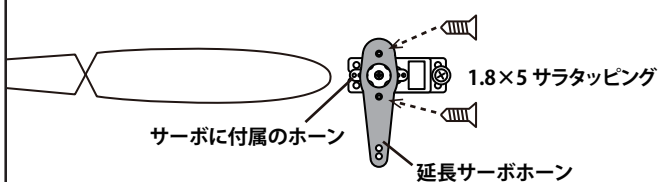
- サーボマウントにキリで下穴をあけて、サーボに付属している**タッピンググビス2本**でサーボをとりつけます。



- サーボがきつくて入らない場合はサーボマウントを少しけずってください。

16

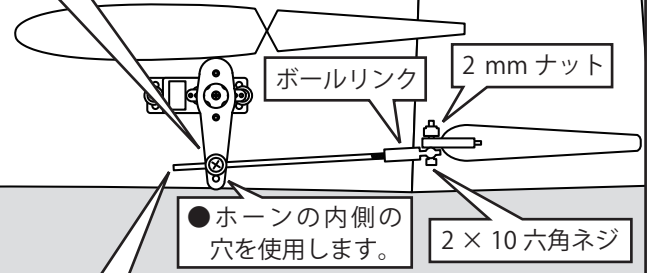
- エレベーター・ラダーそれぞれ、サーボに付属しているホーンの上から**延長サーボホーン**をネジ止めします。



17

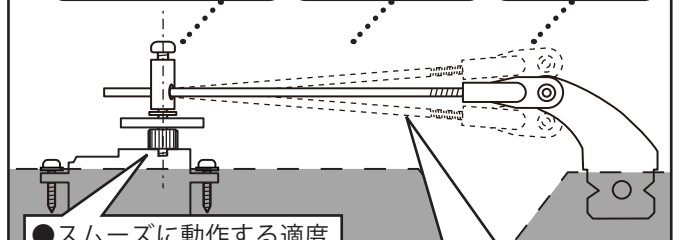
### ラダーのリンケージ

- 長さを調整してロッドアジャスターのビスをしめます。



- 余分なロッドは長さ調整後にカットしてください。

### ロッドアジャスター エルロンロッド ボールリンク



- スムーズに動作する適度なクリアランスに調整してから、このナットを接着剤で回り止めします。  
**注!** しめすぎると動きがしぶくなります。

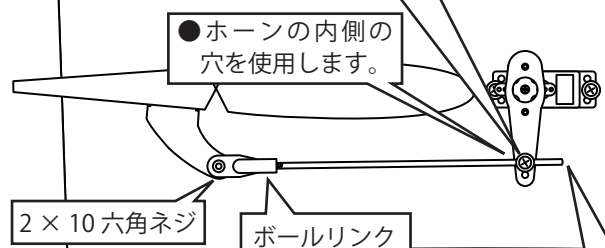
- ロッドアジャスターがサーボホーンに対し垂直にならない場合はロッドを少し曲げて調整してください。

- サーボを受信機につないでプロポの電源をいれニュートラルにします。図のようにリンケージしてサーボのニュートラルで舵がまっすぐになるように**ロッドアジャスター**で長さを調整してください。

18

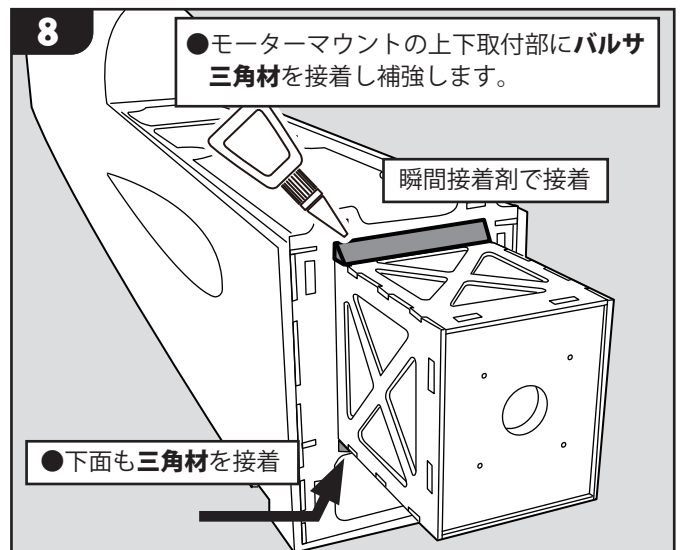
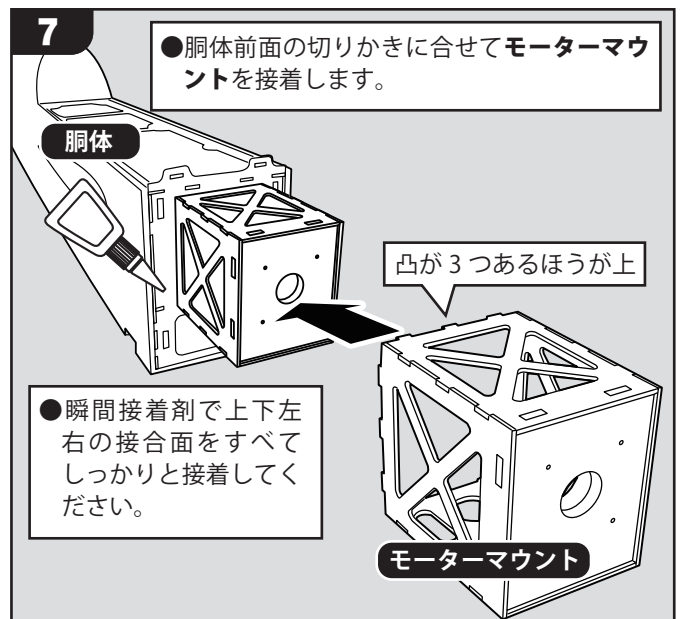
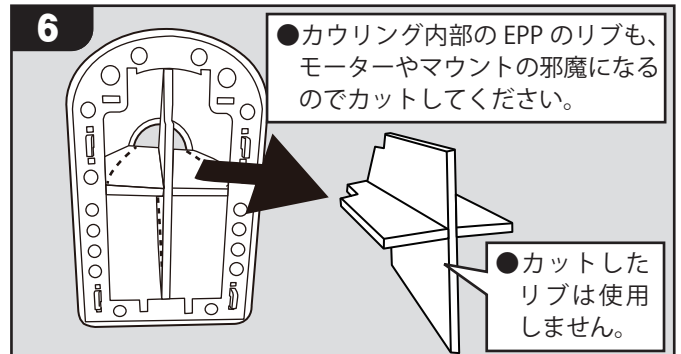
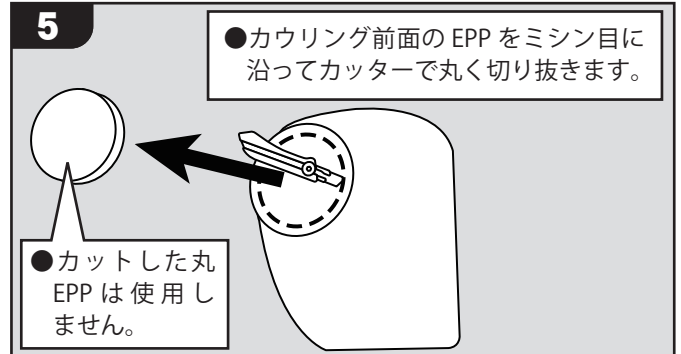
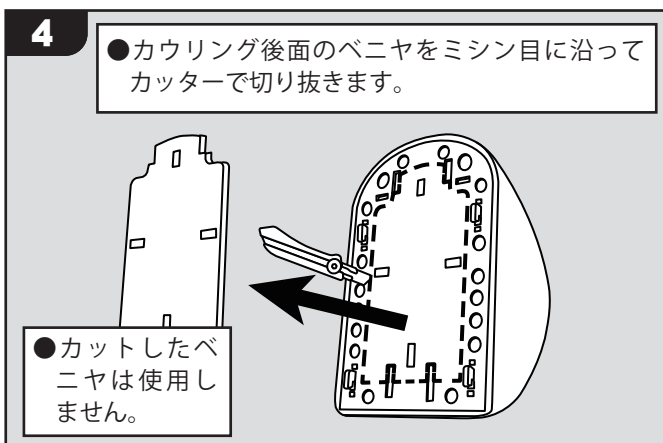
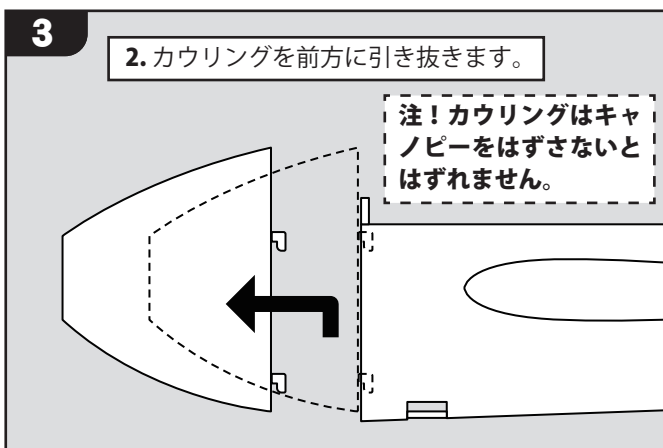
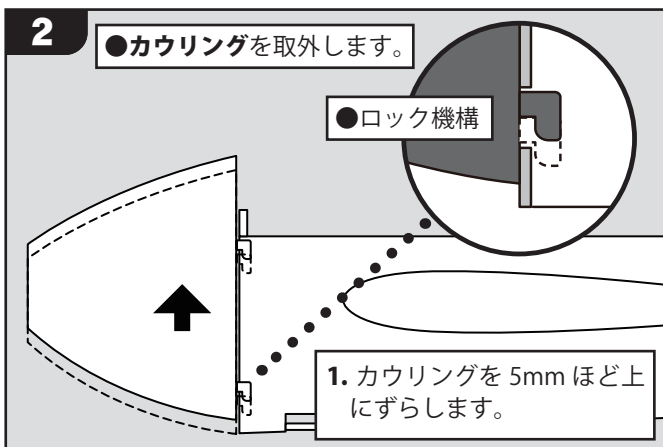
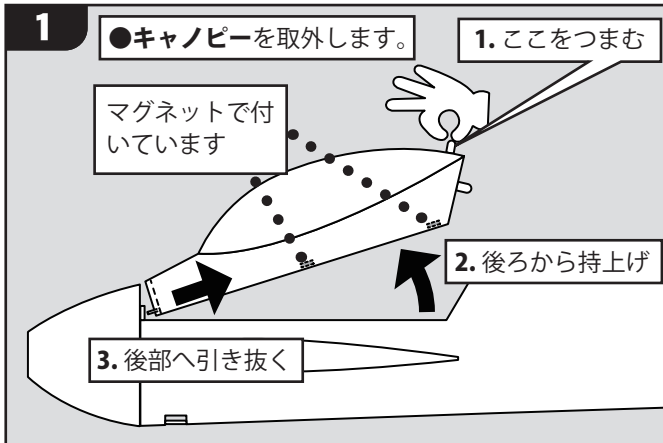
### エレベーターのリンケージ

- 長さを調整してロッドアジャスターのビスをしめます。



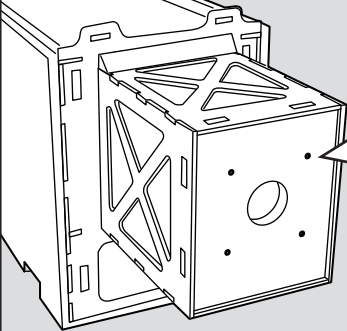
- 余分なロッドは長さ調整後にカットしてください。

## 5 モーターとカウリングの取付



**9**

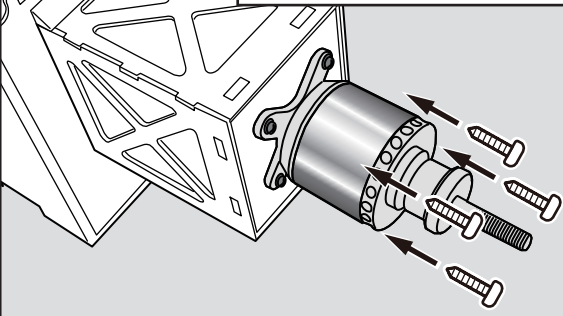
- モータープレートに使用するモーターを仮のせして、ビス穴4つの印をつけて下穴をあけます。



- O.S. OMA-3820-1200モーター(別売)を使用する場合は、はじめから穴位置の目安が印されています。目安ですので現品で確実に合わせてください。

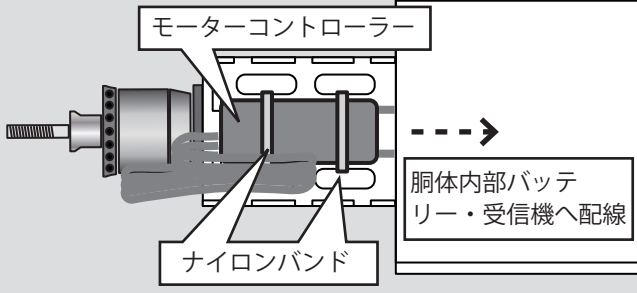
**10**

- 2.6 × 10 タッピングビス4本でモーターを取付ます。



**11**

- 機首のモーターマウント下部にナイロンバンドを使用してモーターコントローラー(別売)を取付けます。



モーターコントローラー

ナイロンバンド

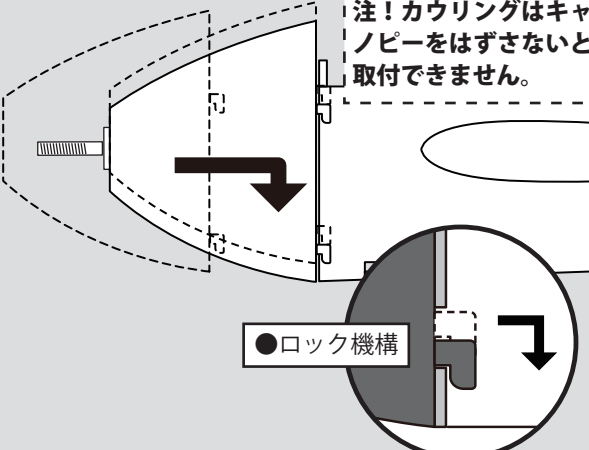
---> 胴体内部バッテリー・受信機へ配線

<胴体前部を下からみた図>

**注!** ナイロンバンドはあまり強くしめすぎると機体やモーターコントローラーが破損するので注意してください。

**12**

- 前方からカウリングを4隅の穴に差し込み、下方向へ下げてロックします。



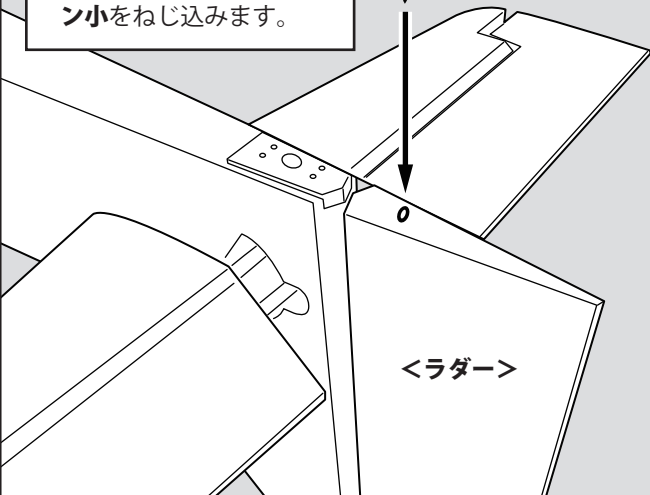
**注!** カウリングはキャノピーをはずさないと取付できません。

● ロック機構

## 6 テールギヤの取付

**1**

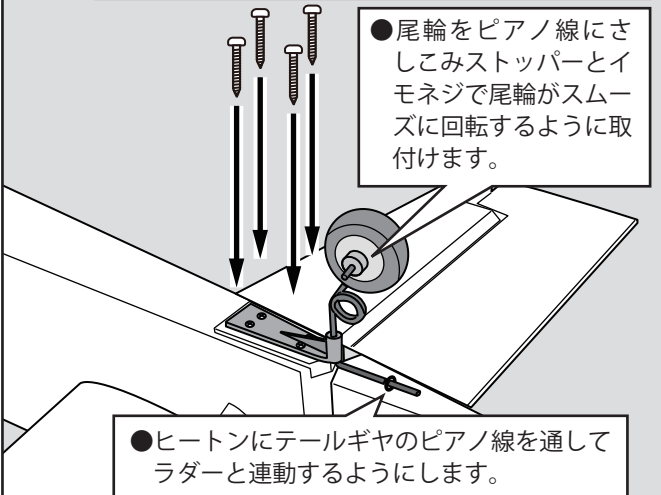
- ラダー底部の穴にヒートン小をねじ込みます。



<ラダー>

**2**

- 胴体後部ベニヤの穴に下穴をあけ1.8 × 12 タッピングビス4本でテールギヤを取付けます。

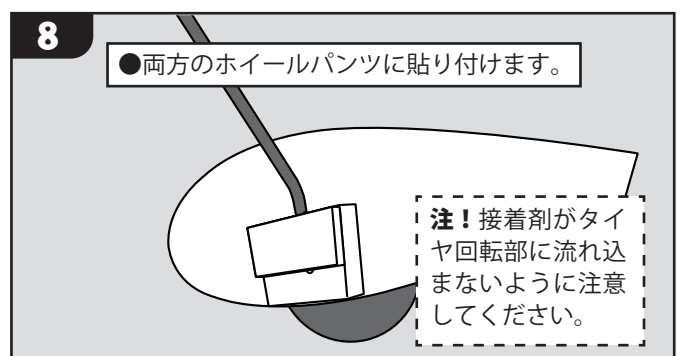
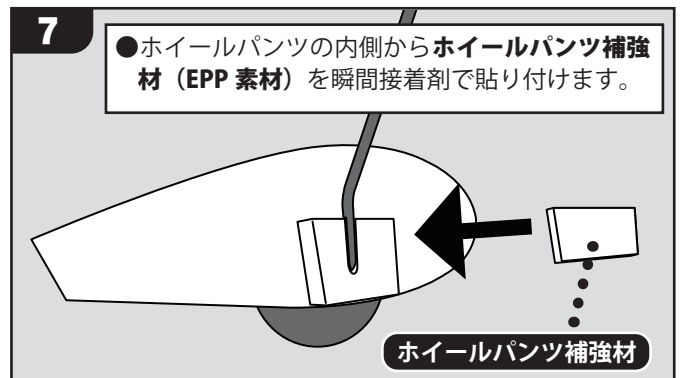
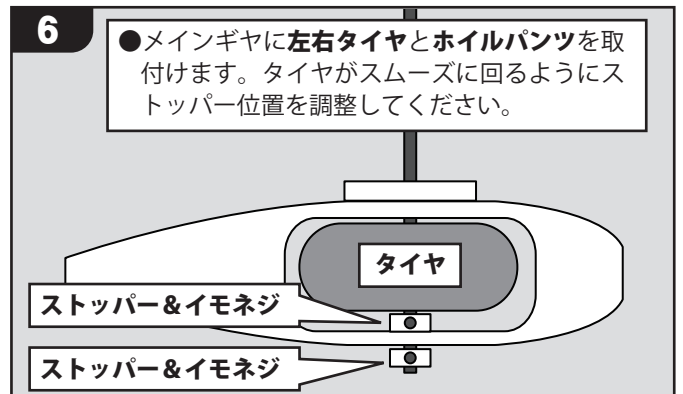
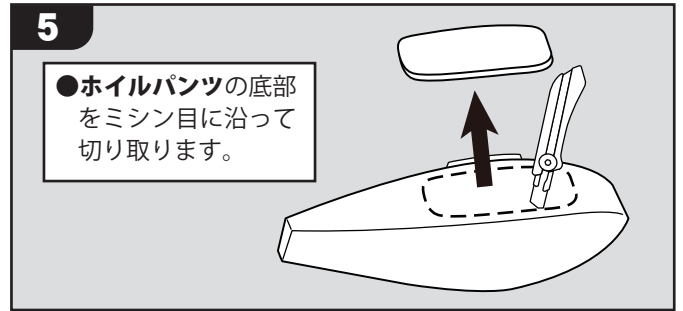
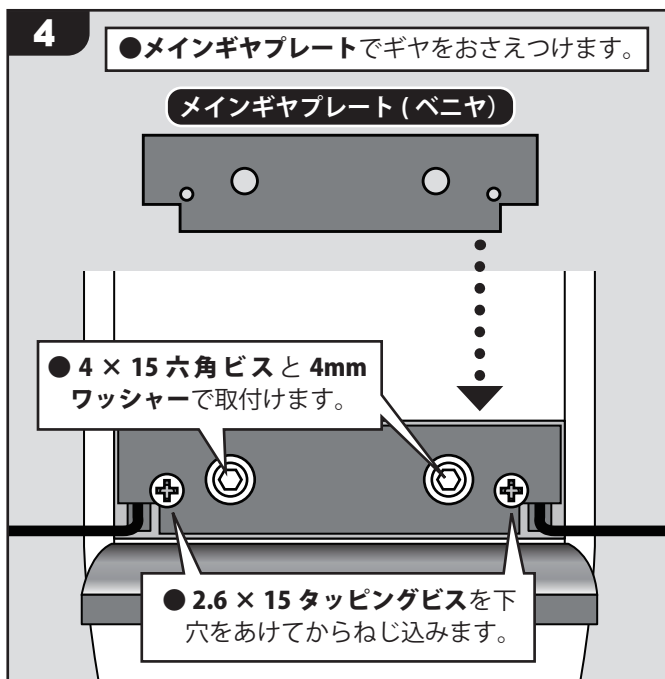
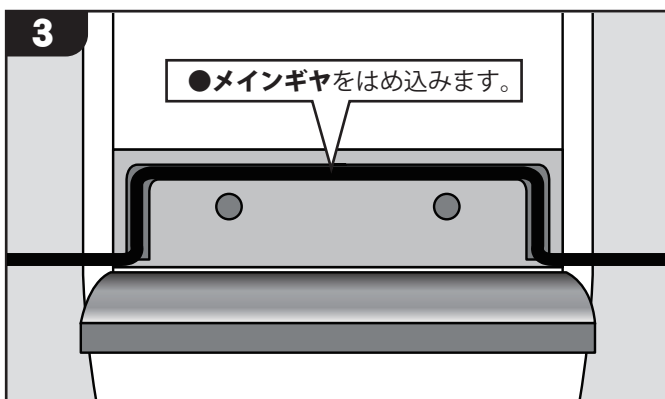
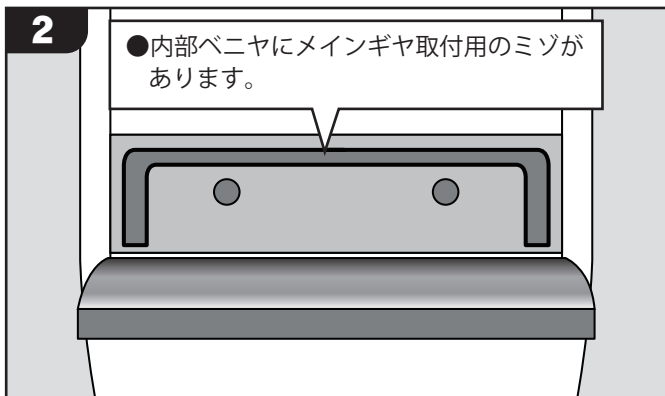
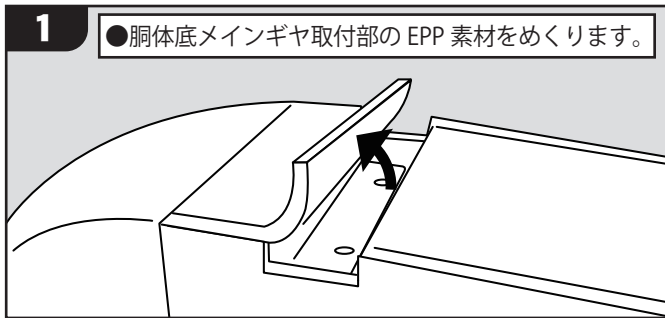


- 尾輪をピアノ線にさしこみストッパーとイモネジで尾輪がスムーズに回転するように取付けます。

- ヒートンにテールギヤのピアノ線を通してラダーと連動するようにします。



## 7 メインギヤの取付



## ✂ 8 受信機・バッテリー（別売）の取付

**1** ●胴体内部にバッテリー・受信機を搭載して、それぞれモーターコントローラー・サーボと配線接続します。

動力用バッテリー    ベルクロバンド    受信機

動力用バッテリーの底面とメカマウントにそれぞれ付属のベルクロテープを貼ります。

注！バッテリーは重量があるので固定は確実にしておきます。

受信機の左右エルロンチャンネルに**100mmの延長コード**（サーボ付きセットのみ付属）を接続します。

前 < 胴体中央部を上からみた図 >

👍 スカイーフ ワンポイント アドバイス

動力バッテリーは使う種類によって重量がちがうので、最後に指定の重心位置になるように、搭載する位置で調整しよう！

⚠ 送信機によってモーターコントローラーのCHをリバースにしなければならない場合があります。はじめに、プロペラをつけないでモーターをまわして方向を確かめてください。  
■不意にプロペラが回転すると大ケガの恐れがあります。

## ✂ 9 主翼の取付

**1** ●胴体にカンザシパイプをまっすぐにさしこみます。

注！きつくて入らない場合はパイプの入る胴体穴の内面を軽くサンドペーパーで磨いてください。

**2** ●左右の主翼をカンザシパイプにまっすぐにさしこみます。

カンザシパイプの端のエッジをサンドペーパーなどで軽く丸めるとスムーズに挿入できます。

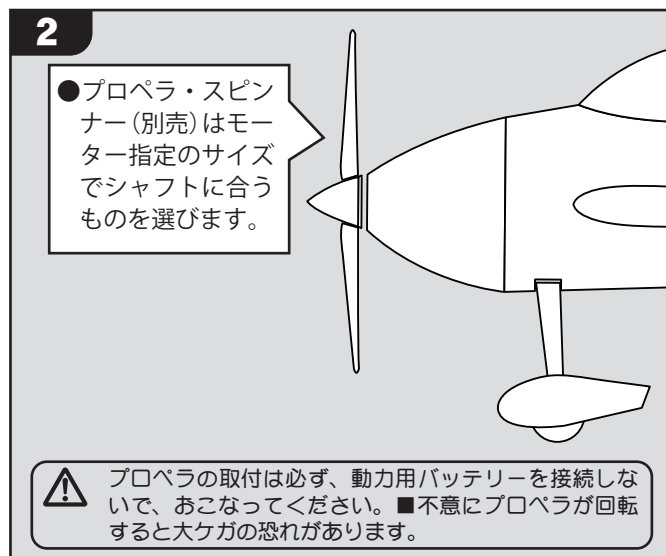
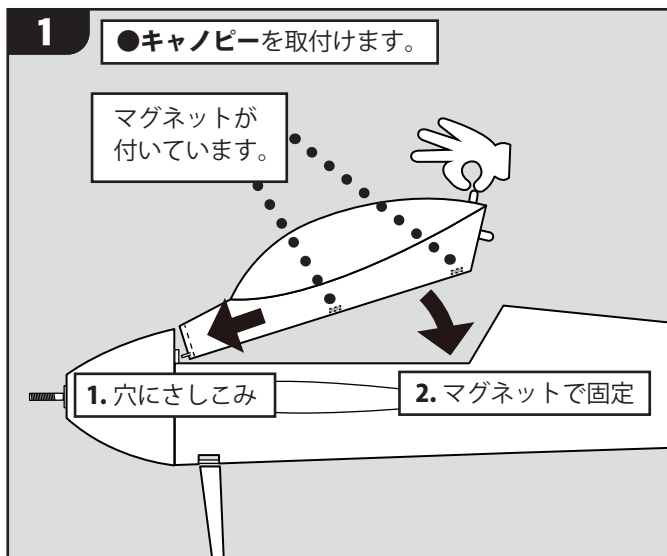
カンザシパイプ

**3** ●左右の主翼のヒートンを**Oリング2本**でつなぎます。

⚠ カンザシパイプの主翼・胴体への挿入ですが、湿度や温度により入りにくい場合があります。ムリに押しこんだり、斜めに挿入すると、主翼・胴体の部品が破損しますので、注意してください。  
■主翼・胴体内部の部品が破損すると空中分解で墜落する危険性があります。

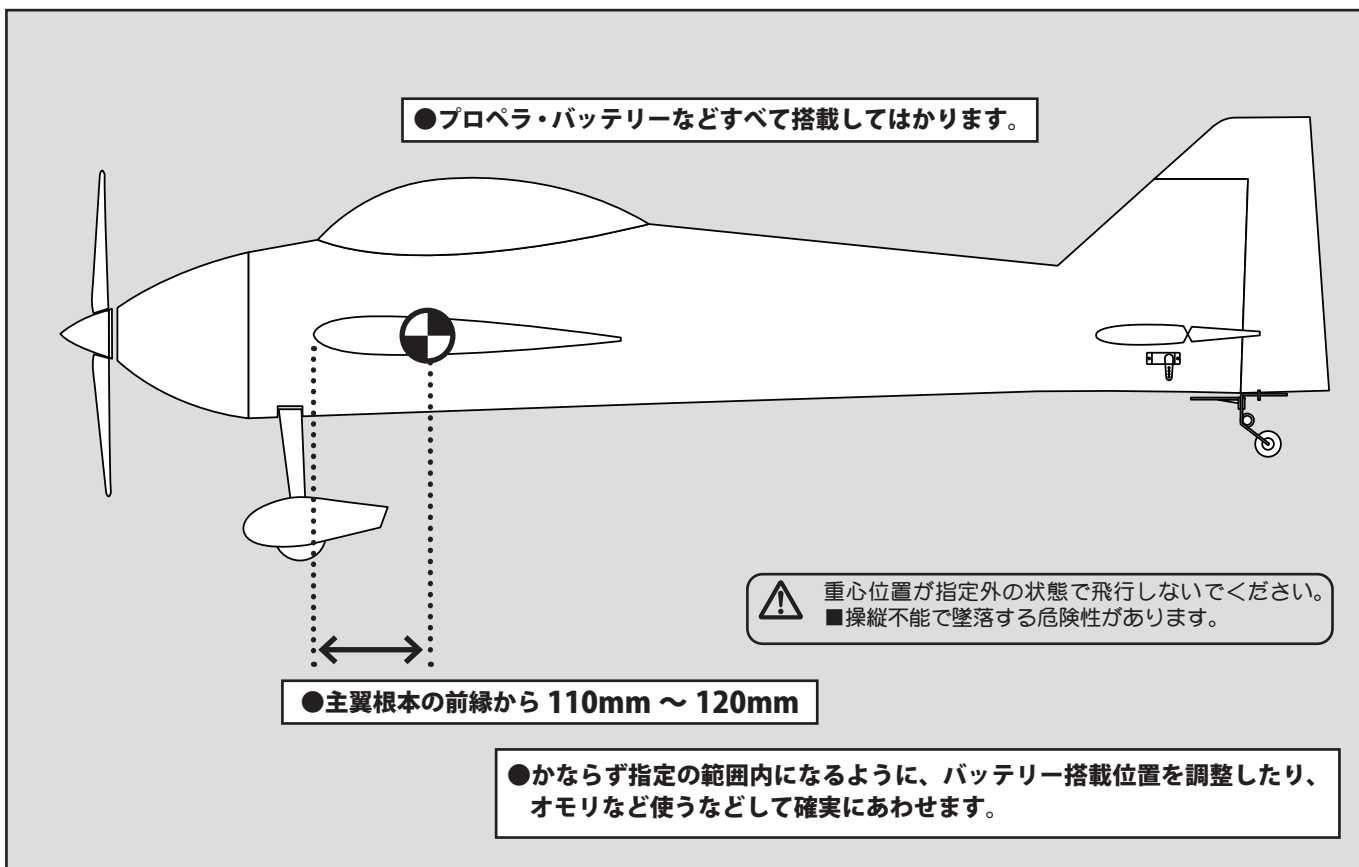
⚠ 飛行時の組み立てのとき、Oリングのつけ忘れに十分注意してください。  
■Oリングをつけ忘れると空中分解で墜落する危険性があります。

## ➤10 キャノピー&ハッチの取付



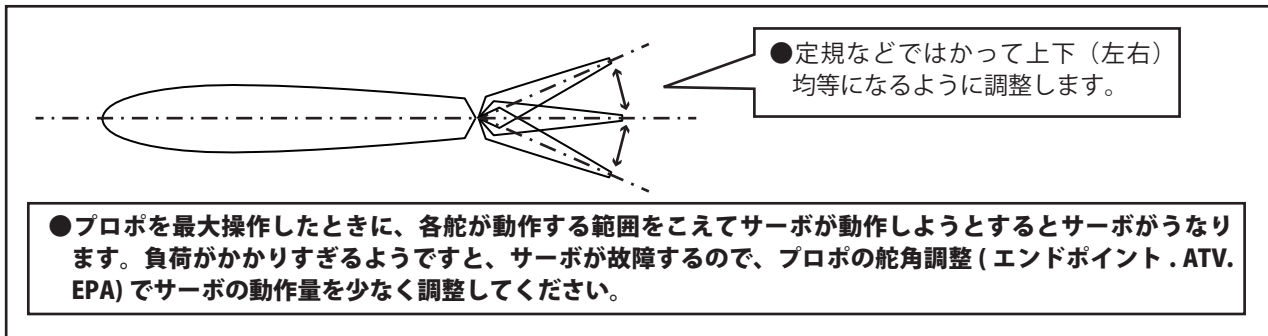
## ➤11 重心位置をあわせる

これで、組立は完成しました。重心位置は飛行機にとって重要ですので、確実にあわせませす。



## ✖12 舵角をあわせる

それぞれの舵の方向を確認してプロポのリバース機能であわせます。また、それぞれの舵角を定規などではかって上下左右均等になるように、プロポの舵角調整機能（エンドポイント・ATV.EPA.）で調整します。



はじめは少ない舵角でフライトしてください。■大舵角は不意の失速で墜落する危険性があります。



スカイリーフ ワンポイントアドバイス

プロポのデユアルレート (D/R) をつかって、大小2つの舵角を設定すると便利だよ!! 普段は少ない舵角で飛ばして、アクロ飛行時に大舵角にきりかえるんだ! 参考にボクの舵角セットを覚えておくれ!! ポイントは大舵角のときはエキスポネンシャル (EXP) のマイナスをふやすこと。大舵角でニュートラル付近が過敏になるのをおさえるのさ!

●通常 (小舵角) :	(デユアルレート)	エルロン 40%	エレベーター 50%	ラダー 100%
	(エキスポネンシャル)	エルロン -45%	エレベーター -20%	ラダー -30%
●アクロ (大舵角) :	(デユアルレート)	エルロン 120%	エレベーター 130%	ラダー 120%
	(エキスポネンシャル)	エルロン -90%	エレベーター -80%	ラダー -40%

## ✖13 テクニカルデータ

機体名	: スカイリーフ・EPP / サンバ・EPP
全長	: 1220mm
全幅	: 1220mm
主翼面積	: 29.5d m <sup>2</sup>
主翼翼厚	: 完全対称 13%
全備重量	: 1000g ~ 1200g
設計・テストフライト	: Futaba フライトスタッフ

S3270SVi (S.BUS/ハイボルテージサーボ) :

- スピード  
0.12sec/60° (6.6V)
- トルク  
2.6kgf・cm (6.6V)
- サイズ/重量  
23.0 × 11.8 × 28.8mm / 16.2g
- 電源  
4.8V ~ 7.4V (乾電池使用不可)

## Futaba フライトスタッフの戦歴



音田哲男 (おんだ てつお) :

2003 ~ 2014 RC 曲技日本選手権 12 連覇  
2004 ~ 2014 RC 曲技アジア・オセアニア大会 6 連覇  
2005, 2011, 2013 RC 曲技世界選手権 2 位  
2007, 2009 RC 曲技世界選手権 3 位  
2013 室内電動 RC 曲技世界選手権 3 位

秋葉洋一郎 (あきば よういちろう) :

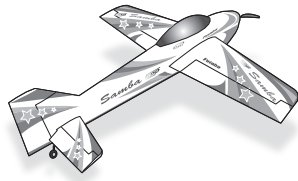
RC 曲技日本選手権 優勝 4 回  
RC 曲技アジア・オセアニア大会優勝 2 回  
RC 曲技世界選手権 4 位  
RC 曲技世界選手権 団体優勝 5 回

鈴木貢司 (すずき こうじ) :

RC 曲技日本選手権 連続 32 回出場  
RC 曲技世界選手権 7 回出場  
2000 RC 曲技アジア・オセアニア大会優勝  
2013 RC 曲技世界選手権 7 位  
2012 RC 曲技日本選手権 3 位  
2013 RC 曲技日本選手権 2 位  
2014 RC 曲技日本選手権 2 位

この製品の修理はおこなっておりません。(付属のサーボは修理可能な場合があります。)





**Futaba®**